

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
障害者心理学		選択	2	2.3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
高田 毅	B301	t.takada	木曜日 13:00~14:30		
授業の目的・概要	<p><目的>精神障害を中心に、障害の基礎知識を習得することを目的とする。障害の概念や定義、心理・行動特性を理解し、その支援を含めて理解するのが目標である。また、ストレス反応の理解を深めて、自らの実習への準備にも役立てることも目標である。</p> <p><概要>課題学習、同時双方向授業で授業を展開する。課題学習では基本となる理論を押さえつつ、そのまとめ学習などを行う。同時双方向授業ではシナリオロールプレイなどの事例も用いてオンライン上での意見交換を展開し、臨場的な見方や考え方を検討し深める。</p>				
学習上の助言	<p>オンラインディスカッションが多いので、積極的に参与すること。</p> <p>講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。</p> <p>体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。</p>				
教科書	レジュメを配布する。				
参考書	<p>わかりやすく学べる特別支援教育と障害児の心理・行動特性/編：河合康・小宮三彌/北樹出版</p> <p>集団精神療法の進歩 引きこもりからトップリーダーまで/著：小谷英文/金剛出版</p>				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神障害の基本的な対応を説明できる。			HSU(4)、心(1)	
②	精神障害・身体障害・知的障害の基本を説明できる。			HSU(2)、心(2)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーションを行う。ディスカッションの方法を学ぶ。 この授業の内容を理解する。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
2	臨床心理学の基礎についてレジュメなどを通して学ぶ。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
3	発達障害についてレジュメなどを通して学ぶ。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
4	身体障害についてレジュメなどを通して学ぶ。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
5	知的障害についてレジュメなどを通して学ぶ。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
6	認知症についてレジュメなどを通して学ぶ。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
7	急性ストレス反応についてレジュメなどを通して学ぶ。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
8	DSM-5を中心に精神障害の総論を学ぶ①。 意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
9	DSM-5を中心に精神障害の総論を学ぶ②。 意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
10	精神障害の各論：神経症性障害について学ぶ。 意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
11	精神障害の各論：パーソナリティ障害について学ぶ。 意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
12	精神障害の各論：統合失調症について学習する。 意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
13	精神障害の各論：不安について学ぶ。 意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
14	精神障害の各論：うつ関連について学習する。 意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。 レポートの作成と提出。	18	
15	まとめとフィードバック。まとめのディスカッションとレポートについてのフィードバックを行う。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	3	

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	10	0	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	理解度を問う応用問題や事例の分析、体験から学んだことのフィードバックから構成される。知識を用いて思考、表現ができていようか、学生固有の体験から学ぶことができていようかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。				15 回目にレポートを返却し、解説とフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後に本日の学びなどを Microsoft Teams の課題機能を用いて提出する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。 (2 点×15 回=30 点)				コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。 必要に応じて次回の授業で補足する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードなどを行いますので授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。</p> <p>尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p> <p>教員の実務経験：臨床心理士として 12 年の臨床経験。</p> <p>実践的授業の内容：ミニワークを数多く取り入れ、ディスカッションを軸に授業を展開する。その際にグループセラピの技術を応用する。個人情報に配慮しつつ、事例などを用いて体験から学ぶことを促す。</p> <p>授業に参加し、体験から学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。</p>							